# 8 チャットを作ろう（制作とデバッグ）（第 7 時）

＿＿＿ 年 ＿＿＿ 組 ＿＿＿ 番　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　参加コード ＿＿＿＿＿＿＿＿

**今日のめあて** 設計シートのとおりに作り、**少し作るたびに動かして確かめ、思ったとおりに動かないところを直す（デバッグ）**。

1 問題を見つける → 2 課題を決める → 3 設計する → **4 作って確かめる** → 5 評価して直す

5 で見つけたことは 1〜4 にもどして直す

## 1. 作るときのきまり

| | |
|---|---|
| ・**レッスン 5 で最後にやったテーマのプログラム**（または 04_チャット基本）から作り始めてよい<br>・見本のプログラムを**コピーして直してよい**<br>・ほかの班のワークシートや画面を**見てよい** | ・作品名は **05_○○チャット**（○○は作品タイトル）<br>・こまったら「ルビティー」（AI）に聞いてよい<br>・動かなくても**とちゅうで提出する**（クラスの課題の「作品を提出」から） |

## 2. 少しずつ作って確かめよう

**ブロックを少し足す → 動かす → 設計シートの手順の図と同じ動きか見る → ちがったら直す**、をくり返します。 送る側と受ける側の**両方**で確かめましょう。うまくいかなかったことと、直したことを書きます。

| # | どうなってしまった？（症状） | なぜ？（原因） | どう直した？ |
|---|---|---|---|
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

デバッグでよくある原因：①変数を「このスプライトのみ」で作っている　②メッセージの名前がちがう　③グループの接続が切れている　④送る側と受ける側のプログラムが同じになっている

## 3. 安全・適切に作れているか確かめよう

| | |
|---|---|
| □ だれかの**個人の情報**を、許可なく入れたり送ったりしない | □ 相手がいやな気持ちになる言葉を**自動で送らない** |
| □ 何回送っても、まちがった入力をしても、**止まったりこわれたりしない** | □ 設計シートの**守る条件**を守れている |

## 4. できたところ・できなかったところ

| 作ろうとした機能 | できた？ | できなかった場合、どうしたかったか |
|---|---|---|
| | ○ ・ △ ・ × | |
| | ○ ・ △ ・ × | |
| | ○ ・ △ ・ × | |

**課題⑧** 作ったチャットを提出する（とちゅうでもよい）。作品名 **05_○○チャット**。

**ふりかえり**（できた度：５ ４ ３ ２ １ に○）

| 先生の確認 |
|---|
| |


https://smalruby.app ／ この教材は **CC0 1.0（パブリックドメイン）**です。自由にコピー・改変・配布できます（出典表示は不要）